

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 6	1	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↘ 69	73	ヘルパンギーナ	↗ 20	15
咽頭結膜熱	↗ 29	15	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 14	23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 46	35	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 460	340	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 20	17
水痘	↘ 40	47	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↘ 16	26	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑(りんご病)	↘ 0	4	マイコプラズマ肺炎	↗ 6	4
突発性発しん	↘ 36	41	クラミジア肺炎	↘ 0	1

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- RSウイルス感染症
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- 感染性胃腸炎は、報告数460件(前週報告数340件)と増加。地区別では、菊池、山鹿、有明に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の93件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- RSウイルス感染症は、報告数69件(前週報告数73件)と減少。地区別では、宇城、菊池、八代に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の27件を最多に主に3歳以下からの報告です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は報告数46件(前週報告数35件)と増加。地区別では、熊本、人吉、菊池に多く報告がみられます。年齢別では、5歳の8件を最多に幅広い年齢層からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	1	16	15	30	126	13	11		15		6	4		18				4
山鹿保健所					32				2					*	*			
菊池保健所	2	14	7	4	98	6			6			2						
阿蘇保健所					11									*	*			
御船保健所					7									*	*			
八代保健所		11	1	3	41	8	1		1									
水俣保健所					1				1			2	*	*				
人吉保健所		3		5	29	1	2		3		7		*	*				
有明保健所	1	1	1		79	3			5			1		2				1
宇城保健所	2	15	1	2	26	7	1		2			1						
天草保健所		9	4	2	10	2	1		1		7	4						1
計	6	69	29	46	460	40	16	0	36	0	20	14	0	20	0	0	6	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
インフルエンザ	6														1	1			1	2	1
小児科定点年齢	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	69	10	22	27	7	2			1												
咽頭結膜熱	29		2	12	5	2	3	1	3		1										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46		1	2	3	4	6	8	5	6	4	1	2	1	3						
感染性胃腸炎	460	4	38	93	59	36	35	37	36	19	15	14	28	7	39						
水痘	40	1	2	7	12	10	3	2	2		1										
手足口病	16		1	11	3	1															
伝染性紅斑	0																				
突発性発しん	36		14	21	1																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	20		5	8	3	1	1						2								
流行性耳下腺炎	14		1			2	1	6		3			1								
眼科定点年齢区分	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	20		1	1	1					1			4	1	4	7					
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	6		3	2									1								
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

ありませんでした。

感染性胃腸炎
の流行に警戒
が必要です!



今週の感染性胃腸炎の報告数は460件で、昨年同時期に比べ、2.6倍の報告数です。菊池地域では1地点あたりの報告数が警報レベルを超えています。ほとんどの地域で前週の報告数を上回り、増加傾向にありますので、今後注意が必要です。

原因には様々なウイルス、細菌などがありますが、これからの季節はウイルスによるものが増加します。特にノロウイルスは感染力が強く、集団感染の原因になることがあります。家庭内での予防はもちろんです。医療機関や福祉施設、学校など集団生活の場でも、下記のポイントを参考に、予防に努めてください。また、これから文化祭や餅つき大会等のシーズンとなりますが、食品を取り扱う際には衛生管理を徹底してください。

～ノロウイルスを予防する4つのポイント～

- ①生ものは極力避け、85℃で1分以上加熱調理しましょう。
- ②調理の前後、トイレやおむつ交換の後などは、必ずせっけんを手を洗いましょう。
- ③調理器具の使用後は、ときどき次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)に浸して殺菌しましょう。
- ④嘔吐物や便を処理するときは、マスクと手袋を着用し、周りを汚染させないようにしましょう。